

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-270899

(43)Date of publication of application : 14.10.1997

(51)Int.Cl.

H04N 1/21

H04N 1/32

H04N 1/44

(21)Application number : 08-101956

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 01.04.1996

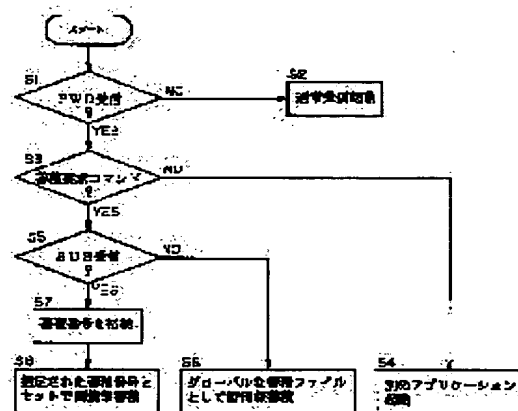
(72)Inventor : SHOBU TOSHIBUMI

## (54) FACSIMILE EQUIPMENT

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To allow a facsimile equipment to act as a database for a portable terminal equipment and to operate each function by a standard protocol (selective polling(SEP)/subaddress (SUB)/password(PWD)), by storing tentatively image information from the portable terminal equipment to the facsimile equipment and extracting the information as required, so as to enhance the convenience of the portable terminal equipment.

**SOLUTION:** Received image storage and management processing checks whether or not a PWD is received at first by a control command of SUB/PWD (S1). When the PWD is not received, usual reception process is started (S2), and when the PWD is received, whether or not a storage request command is received is checked (S3), when the command is not received, other application is started (S4), and when the command is received, whether or not a SUB is received is checked (S6). When the SUB is not received, image information is stored as a global storage file (S6), and when the SUB is received, a storage number is stored (S7) and the image information is stored in cross-reference with the designated storage number (S8).



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 17.07.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 05.01.2005

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-270899

(43) 公開日 平成9年(1997)10月14日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

H 0 4 N 1/21  
1/32  
1/44

識別記号

庁内整理番号

F I

H 0 4 N 1/21  
1/32  
1/44

技術表示箇所

Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平8-101956

(22) 出願日 平成8年(1996)4月1日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 菅蒲 俊文

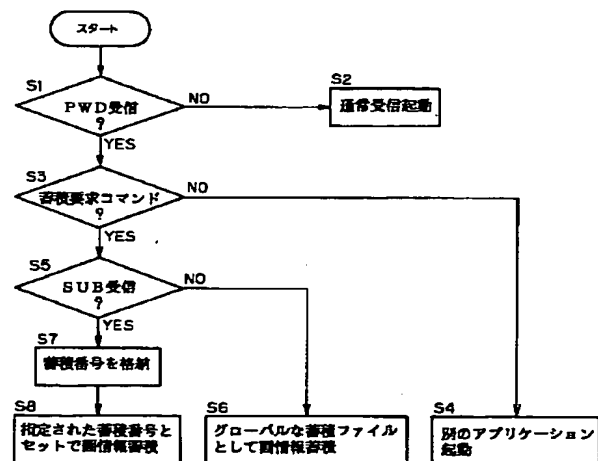
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 携帯端末からの画情報をファクシミリ装置に一時的に蓄積しておき、必要に応じて引き出すことで携帯端末の利便性を高めるようにするため、これら携帯端末のデータベースとして機能し、かつ、各機能を標準プロトコル (SEP/SUB/PWD) で動作できるようにする。

【解決手段】 SUB/PWDによる制御コマンドで受信画像蓄積及び管理処理は、まず、PWDを受信したかチェックする (S1)。受信してなければ、通常受信を起動し (S2)、受信したならば、蓄積要求コマンドかチェックし (S3)、ちがうものであれば、別のアプリケーションを起動させ (S4)、そうであれば、SUBを受信したかチェックする (S6)。受信してなければ、グローバルな蓄積ファイルとして画情報蓄積し (S6)、受信したならば、蓄積番号を格納し (S7)、指定された蓄積番号とセットで画情報蓄積する (S8)。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 SEP/SUB/PWDをサポートするファクシミリ装置において、SUB/PWDで指定された受信画情報を出力することなく蓄積しておき、該蓄積画情報がSEP/PWDで指定された場合に、該蓄積画情報をセレクトティブポーリング送信することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1のファクシミリ装置において、SUB/PWDで指定された蓄積画情報を、SUB/PWDを用いた消去コマンドにより消去することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 請求項1のファクシミリ装置において、SUB/PWDで指定された蓄積画情報を、SUB/PWDを用いた出力コマンドによりプリントアウトすることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】 請求項2または3において、制御コマンドにSEP/PWDを持たせ、前記蓄積画情報の消去又は自機出力処理を一回のセレクトティブポーリング処理で行なうことを特徴とするファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファクシミリ装置、より詳細には、SEP/SUB/PWDをサポートするファクシミリ装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】近年、携帯端末が普及し、ファクシミリ機能を備えたハンディターミナルや携帯電話が多数出現している。しかしながら、これらの端末はメモリ容量に制約があり、多数のファクシミリ画情報を蓄積しておくことは困難である。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述のごとき実情に鑑みてなされたもので、これらの携帯端末からの画情報をファクシミリ装置に一時的に蓄積しておき、必要に応じて引き出すことで携帯端末の利便性を高めるようにするため、これら携帯端末のデータベースとして機能し、かつ、各機能を標準プロトコル(SEP/SUB/PWD)で動作させることのできるファクシミリ装置を提供することを目的とするものである。

【0004】請求項1の発明は、SUB/PWDで蓄積指定された受信画情報を蓄積しておき、送信端末がSEP/PWDでこの画情報を引き出すという方法をとることで、携帯端末等のデータベースとして機能を果たすことを目的とする。

【0005】請求項2の発明は、請求項1の発明の目的を達成するに当たって、送信端末からの制御コマンドにより受信画情報の削除機能を提供することを目的とする。

【0006】請求項3の発明は、請求項1の発明の目的を達成するに当たって、送信端末からの制御コマンドに

より受信画情報を自機出力することを目的とする。

【0007】請求項4の発明は、請求項2又は3の処理をセレクトティブポーリング送信起動と同時に進めることで操作を容易にすることを目的とする。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、SEP/SUB/PWDをサポートするファクシミリ装置において、SUB/PWDで指定された受信画情報を出力することなく蓄積しておき、その蓄積画情報がSEP/PWDで指定された場合には、その蓄積画情報をセレクトティブポーリング送信するようにし、もって、メモリ容量の制約の大きい携帯端末等からの受信画情報をSEP/PWDの標準プロトコルによる指示に従って蓄積しておき、必要に応じて携帯端末等からのSEP/PWDでその蓄積画情報をセレクトティブポーリング送信を可能とし、データベースとして機能することを可能とするものである。

【0009】請求項2の発明は、請求項1の発明において、SUB/PWDで指定された蓄積画情報を、SUB/PWDを用いた消去コマンドにより消去するようにし、もって、ファクシミリ装置に一時的にデータベースとして蓄積していた画情報を、蓄積を要求した端末から削除できるようにし、メモリの有効活用を可能としたものである。

【0010】請求項3の発明は、請求項1の発明において、SUB/PWDで指定された蓄積画情報を、SUB/PWDを用いた出力コマンドによりプリントアウトすることによって、一時的にデータベースとして蓄積していた画情報を、蓄積を要求した端末からの指定で自機出力できるようにし、情報の共有化を可能としたものである。

【0011】請求項4の発明は、請求項2または3の発明において、制御コマンドにSEP/PWDを持たせ、蓄積画情報の消去又は自機出力処理を一回のセレクトティブポーリング処理で行うようにし、もって、請求項2及び請求項3の処理をセレクトティブポーリングの起動と共に進めるようにし、処理の簡略化を可能としたものである。

## 【0012】

【発明の実施の形態】図1は、本発明が適用されるファクシミリ装置の一例を説明するためのブロック図、図2(A)は、SUB(サブアドレス)/PWD(パスワード)を用いた画情報蓄積コマンド指定のためのプロトコルシーケンスを示した図で、図2(B)は、図2(A)の蓄積画情報をSEP(選択ポーリング)/PWD(パスワード)を用いてセレクトティブポーリングを行なった場合のプロトコルシーケンスを示した図で、図1中、1は原稿センサ、2はスキャナ、3は用紙センサ、4はプロッタ、5は操作表示部、6は画像メモリ、7はバッテリー、8はパラメータメモリ、9は時計回路、10はバ

ス、11は通信制御装置、12はモデム、13は符号化復号化部、14はCPU、15は網制御装置、16はROM、17はRAM、18はキャラクタジェネレータである。

【0013】SUB/PWDは網制御装置15からモデム13を介して通信制御部11に転送される。通信制御部11は、このSUB/PWDを解析し、これが蓄積要求コマンドであることを認識するとこれを画像メモリ6に蓄積する。この時、仮に受信画情報を自機出力した場合でも画像メモリ6からの消去は行なわない。

【0014】SUB/PWDは、

- (1) SUBを画情報指定ID、PWDを制御コマンド
- (2) SUBを制御コマンド、PWDを画情報指定ID
- (3) SUBを制御コマンド、PWDをパスワード
- (4) SUBを画情報指定ID、PWDをパスワードとする等の使い方が考えられる。なお、上記(4)のパターンでは制御コマンドが存在しないが、マシンのシステム設定により、無条件にセレクトティブポーリングされるまで画情報を保持することも可能である。

【0015】一方、画情報蓄積後、SEP/PWDでこの画情報を指定してセレクトティブポーリング要求を行なう場合、通信制御部11は受信したSEP/PWDをチェックし、該当画情報の有無、及び場合によってはパスワードの認証、制御コマンドの妥当性を確認する。その結果、セレクトティブポーリング送信可能と判定された場合にのみセレクトティブポーリング送信を起動する。

【0016】この時、SEP/PWDは上記と同様、

- (5) SEPを画情報指定ID、PWDを制御コマンド
- (6) SEPを制御コマンド、PWDを画情報指定ID
- (7) SEPを制御コマンド、PWDをパスワード
- (8) SEPを画情報指定ID、PWDをパスワードとする等の使い方が考えられる。なお、上記(8)のパターンでは制御コマンドが存在しないが、マシンのシステム設定により、セレクトティブポーリング送信した後（もしくはシステム指定で規定された規定回数セレクトティブ送信した後）、画情報を削除することも可能である。

【0017】SUB/PWDによる制御コマンドで蓄積された画情報は、同じくSUB/PWDによる制御コマンドにより、画情報の削除もしくは自機出力する。これは、SUB/PWDを受信した通信制御部11がこのコマンドを解析し、画情報削除コマンドであればこれを削除し、自機出力コマンドであれば自機出力する。これらのコマンドをSUB/PWDのどのようにマッピングするかは、上記と同様、複数の組み合わせが考えられる。

【0018】また、SEP/PWDを用いてセレクトティブポーリングを行なう際に、このSEP/PWD自身に制御コマンドを含ませ、セレクトティブポーリング送信を行なうと共に、

・受信画情報を消去する

・受信画情報を自機出力するを起動することも可能である。

【0019】図3は、SEP/SUB/PWDのフォーマット例を示した図で、図3(A)はPWDとSUBによる蓄積指定、図3(B)はPWDとSEPによるセレクトティブポーリング指定を示す。

【0020】図4は、SUB/PWDによる制御コマンドで受信画像蓄積及び管理処理の例を示したフローチャートで、まず、PWDを受信したかチェックし(S1)、受信してなければ、通常受信を起動し(S2)、受信したならば、蓄積要求コマンドかチェックし(S3)、ちがうものであれば、別のアプリケーションを起動させ(S4)、そうであれば、SUBを受信したかチェックし(S6)、受信してなければ、グローバルな蓄積ファイルとして画情報蓄積し(S6)、受信したならば、蓄積番号を格納し(S7)、指定された蓄積番号とセットで画情報蓄積する(S8)。

【0021】図5は、SEP/PWDによる蓄積画像の送信処理の例を示したフローチャートで、まず、SEPを受信したかチェックし(S1)、受信してなければ、通常受信を起動し(S2)、受信したならば、蓄積画情報送信要求コマンドかチェックし(S3)、ちがうものであれば、別のアプリケーションを起動させ(S4)、そうであれば、SUBを受信したかチェックし(S6)、受信してなければ、グローバルな蓄積ファイルの蓄積画情報送信し(S6)、受信したならば、SUBに該当する蓄積番号の画情報があるかをチェックし(S7)、なければ、回線を断線し(S8)、あるならば、蓄積番号を格納し(S9)、指定された蓄積番号の蓄積画情報を送信する(S10)。

【0022】図6は、SUB/PWDによる蓄積画像の消去処理の例を示したフローチャートで、まず、PWDを受信したかチェックし(S1)、受信してなければ、通常受信を起動し(S2)、受信したならば、消去要求コマンドかチェックし(S3)、ちがうものであれば、別のアプリケーションを起動させ(S4)、そうであれば、SUBを受信したかチェックし(S6)、受信してなければ、グローバルな蓄積ファイルの蓄積画情報を削除し(S6)、受信したならば、SUBに該当する蓄積番号の画情報があるかをチェックし(S7)、なければ、回線を断線し(S8)、あるならば、蓄積番号を格納し(S9)、指定された蓄積番号の蓄積画情報を削除する(S10)。

【0023】図7は、SUB/PWDによる蓄積画像の自機出力処理の例を示したフローチャートで、まず、PWDを受信したかチェックし(S1)、受信してなければ、通常受信を起動し(S2)、受信したならば、自機出力要求コマンドかチェックし(S3)、ちがうものであれば、別のアプリケーションを起動させ(S4)、そうであれば、SUBを受信したかチェックし(S6)、

受信しなければ、グローバルな蓄積ファイルの蓄積画情報を出力し（S6）、受信したならば、SUBに該当する蓄積番号の画情報があるかをチェックし（S7）、なければ、回線を断線し（S8）、あるならば、蓄積番号を格納し（S9）、指定された蓄積番号の蓄積画情報を出力する（S10）。

#### 【0024】

【発明の効果】請求項1の発明によると、SEP/SUB/PWDをサポートするファクシミリ装置において、SUB/PWDで指定された受信画情報を出力することなく蓄積しておき、SEP/PWDでその蓄積画情報を指定された場合にはその画情報をセレクトブポーリング送信するようにしたので、メモリ容量の制約の大きい携帯端末等からの受信画情報をSEP/PWDの標準プロトコルによる指示に従って蓄積しておき、必要に応じて携帯端末等からのSEP/PWDでその蓄積画情報をセレクトブポーリング送信が可能となるため、データベースとして機能することが可能となる。

【0025】請求項2の発明によると、SUB/PWDで指定された蓄積画情報を、SUB/PWDを用いた消去コマンドにより消去するようにしたので、ファクシミリ装置に一時的にデータベースとして蓄積していた画情報を、蓄積を要求した端末から削除できるため、メモリの有効活用が可能となる。

【0026】請求項3の発明によると、SUB/PWDで指定された蓄積画情報を、SUB/PWDを用いた出力コマンドによりプリントアウトし、一時的にデータベースとして蓄積していた画情報を、蓄積を要求した端末からの指定で自機出力できるようにしたので、情報の共\*

\*有化が可能となる。

【0027】請求項4の発明によると、制御コマンドにSEP/PWDを持たせ、蓄積画情報の消去又は自機出力処理を一回のセレクトブポーリング処理で行い、請求項2及び請求項3の処理をセレクトブポーリングの起動と共に進めようとしたので、処理の簡略化が可能となる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明が適用されるファクシミリ装置の一例を説明するためのブロック図である。

【図2】 プロトコルシーケンスを示した図である。

【図3】 SEP/SUB/PWDのフォーマット例を示した図である。

【図4】 SUB/PWDによる制御コマンドで受信画像蓄積及び管理処理の例を示したフローチャートである。

【図5】 SEP/PWDによる蓄積画像の送信処理の例を示したフローチャートである。

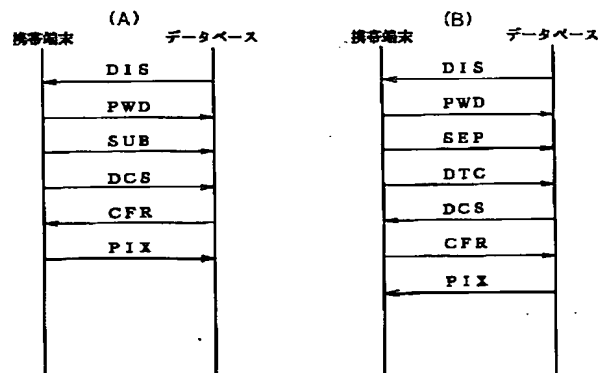
【図6】 SUB/PWDによる蓄積画像の消去処理の例を示したフローチャートである。

【図7】 SUB/PWDによる蓄積画像の自機出力処理の例を示したフローチャートである。

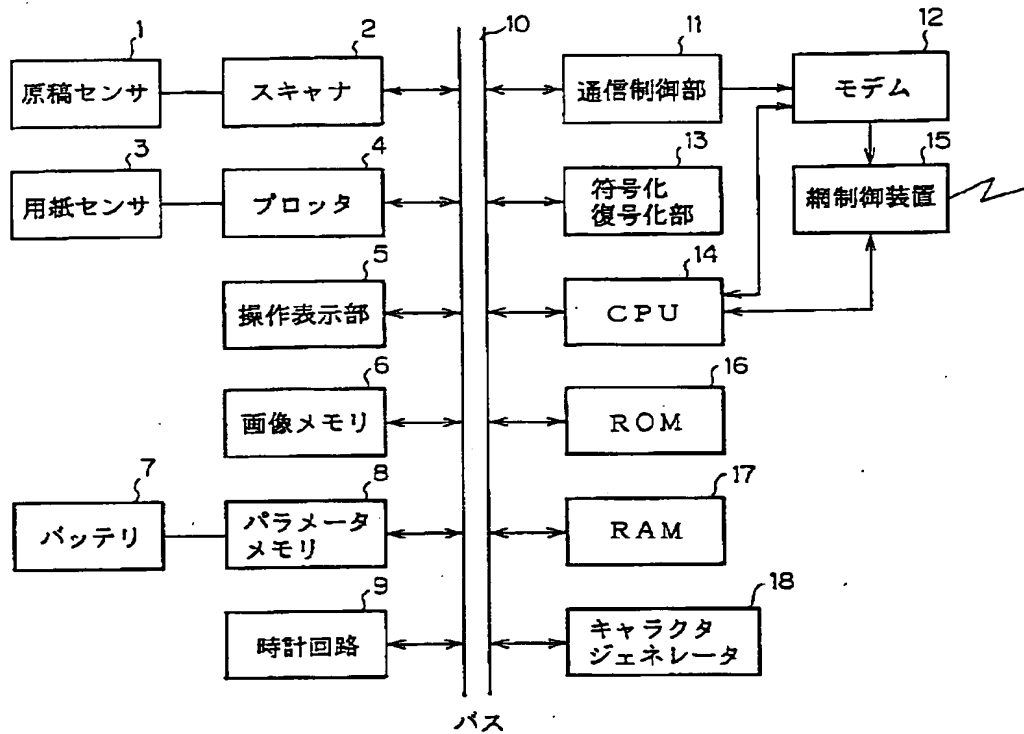
#### 【符号の説明】

1…原稿センサ、2…スキャナ、3…用紙センサ、4…プロッタ、5…操作表示部、6…画像メモリ、7…バッテリー、8…パラメータメモリ、9…時計回路、10…バス、11…通信制御装置、12…モデム、13…符号化復号化部、14…CPU、15…網制御装置、16…ROM、17…RAM、18…キャラクタジェネレータ。

【図2】



【図1】



【図3】

## (A) PWDとSUBによる蓄積指定

PWD    00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 31 31 31 31    ( Hex )  
蓄積指定

SUB    00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 31    ( Hex )  
蓄積番号"1"指定

## (B) PWDとSEPによるセレクトティブポーリング指定

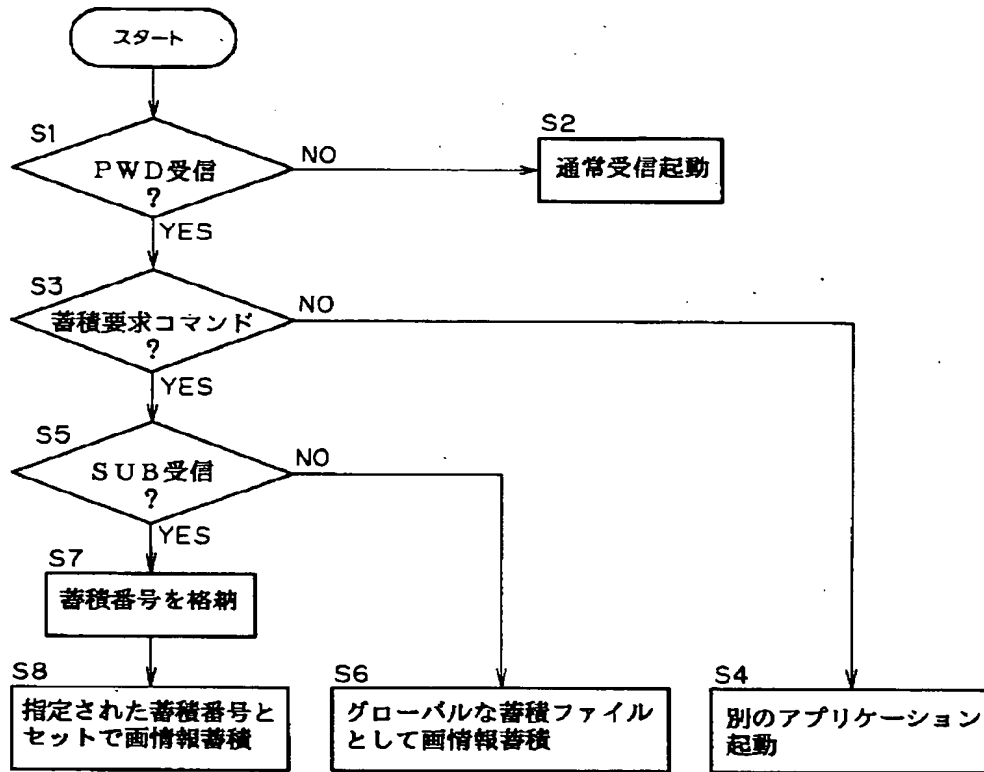
(セレクトティブポーリング送信後、消去)

PWD    00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 32 32 32 32    ( Hex )  
消去指定

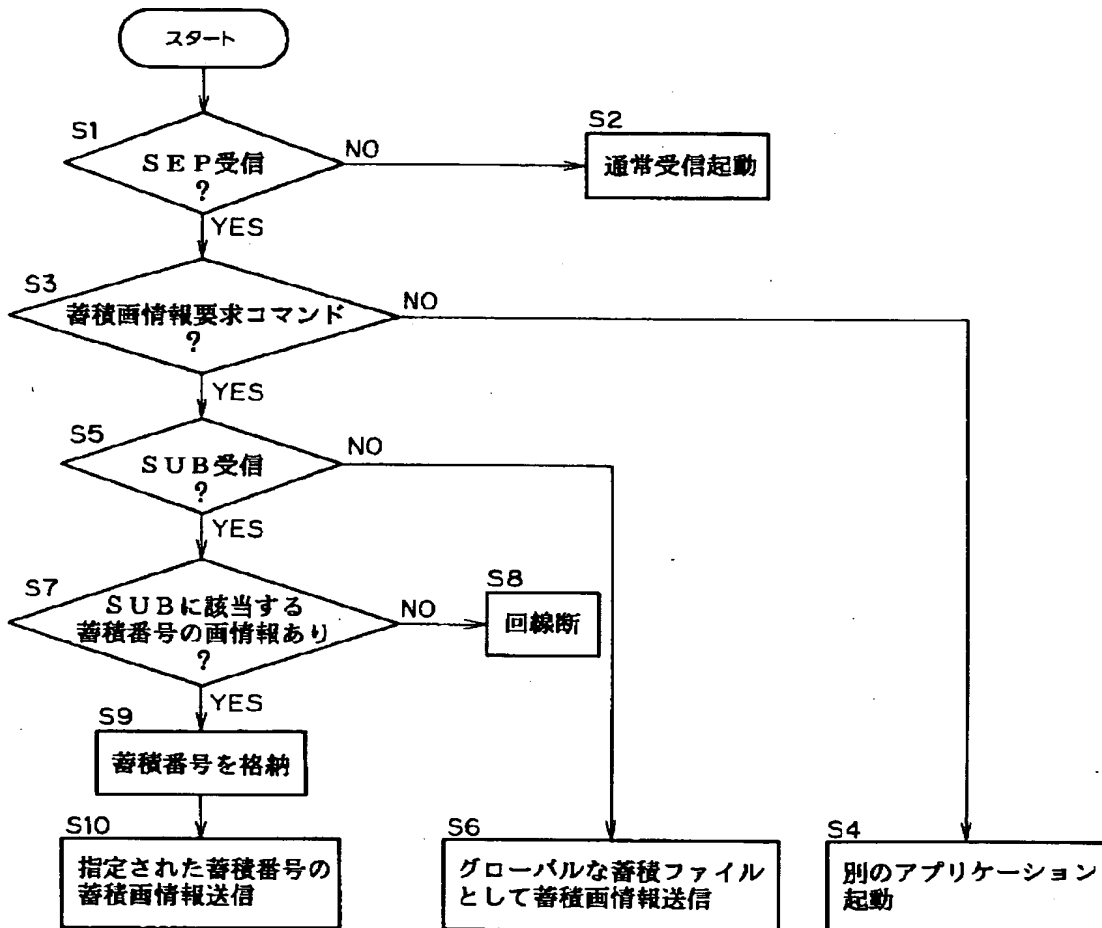
SEP    00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 31    ( Hex )  
蓄積番号"1"指定

フォーマット例

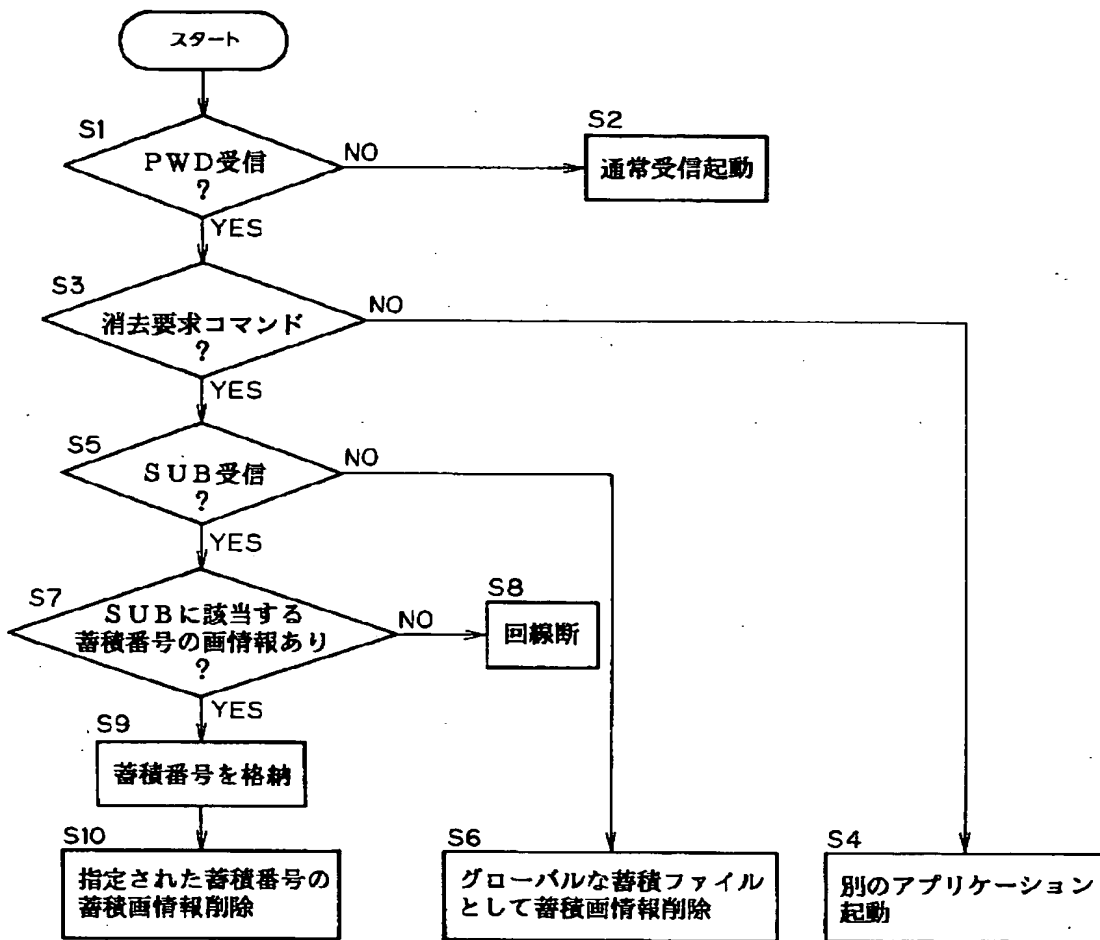
【図 4】



【図5】



【図 6】



【図 7】

